

はじめに

宮崎県県土整備部長 児玉宏紀



耳川流域は、平成17年の台風14号で土砂に起因する甚大な被害が発生したことから、山地から海に至るまでの総合的な土砂管理の在り方が課題となっていました。このため、平成21年7月に諸塚村において第1回の総合土砂管理に関する技術検討会を開催したのを皮切りに、地域や関係機関の皆様から様々な御意見をいただきながら2年余りの歳月をかけて「耳川水系総合土砂管理計画」を策定したところであります。

この計画は、流域共通の目標を定めた「基本的な考え方」と、目標実現のための役割分担や行動した後の評価手法を明確にした「行動計画」とで構成しており、総合土砂管理上の課題解決に向けて、河川管理者のみならず流域全体の様々な関係者が共通認識の下連携して、行動していくことを位置付けた点が意義深いものであると考えております。

これまでに計画策定に携わっていただいた検討会委員や地域の皆様、流域市町村をはじめ九州電力株式会社など関係機関の方々に対し、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

今後は、「耳川を良い川とする」ために森林（もり）から海まで流域一体となって、関係者が「行動計画」に基づいた対策を実施し、地域住民と共にその結果を評価し適宜改善しながら、継続的に取り組んで参りたいと考えておりますので、関係者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。